

20075

心臓カテーテル後の処置、安静度表の作成

当院の心臓センターは外来・心臓カテーテル室・病棟がひとつの看護単位として運営している。看護方式としてはチームナーシング・継続受け持ち方式をとっているが外来やカテ室業務があるため一部機能別看護も取り入れている。看護師の勤続年数は約半数が3年未満の看護師である。心臓センターの業務で煩雑と感じるのはカテーテルでの入院対応、カテ前後の処置対応である。年間約5000件のカテーテルの検査・治療の種類は多く、穿刺部位も末梢橈骨動脈、橈骨動脈、上腕動脈、大腿動脈穿刺とさまざまであり、シースのサイズにより止血器具の減圧も異なる。また安静度も違うためカテ係りと称する業務に疲弊を感じる看護師は少なくない。カテーテルはクリニカルパスを用いているが1日20件前後の検査・治療の処置・安静度を把握するのは難しい。そこで検査・治療の種類、穿刺部位ごとに行わなければならない処置、止血器具の減圧、安静度などを一覧にし慣れない看護師でもすぐに対応できるように作成した。一覧表を活用することで対応がスムーズにできるようになり対応に迷う時間もなくなった。多種多様の検査・治療に少人数で対応する場合は特に見やすいマニュアルがあると業務の効率があがる。また個人の力量に関わらず対応することができる。